

お取引先とともに社会的責任を果たすために

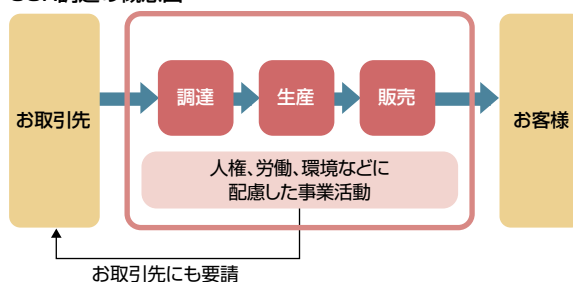
透明、公正な取引を通じて築いた信頼関係のもと、
お取引先の皆様とともに社会的責任を果たしていきます。

サプライチェーンにおけるCSR活動の推進“CSR調達”

コニカミノルタは、持続可能な社会の構築に向け、サプライチェーン*における基本的人権の尊重、労働環境の改善などを行う「CSR 調達」を推進しています。

原材料や部品を調達しているお取引先の皆様に対して、培ってきたパートナーシップのもと、CSR活動を要請し、推進状況の把握、改善要請および助言を行います。また、コニカミノルタグループ生産拠点においても、より厳しい基準を設けて診断と改善を実施し、サプライチェーンでのCSR活動を推進します。

CSR調達の概念図



* サプライチェーン：調達、生産、物流、販売を経て、お客様に製品やサービスが提供されるまでの一連の流れ。

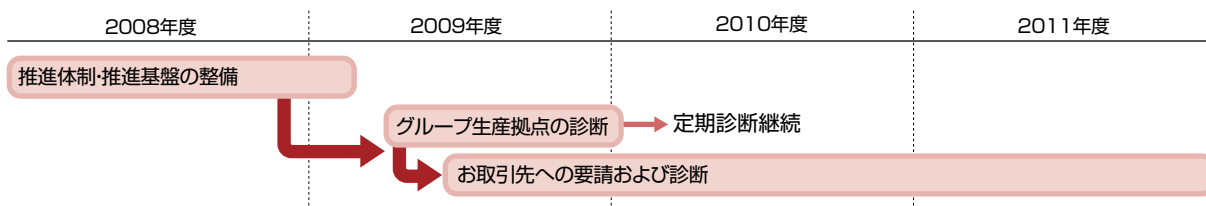
CSR調達の基準と推進計画

コニカミノルタは、調達活動全般についての理念とお取引先への要請を明記した「調達方針」を2008年4月に制定しました。この方針に基づき、CSR調達の対象分野と基準を示した「行動規範*」を策定するとともに、「自己診断アンケート*」を使った診断法を構築し、2009年7月から展開しています。

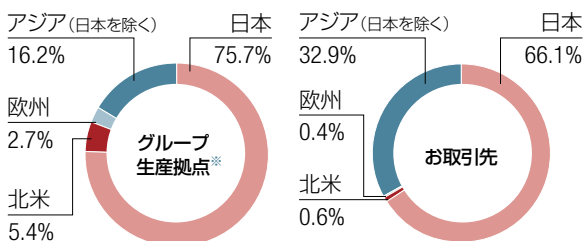
グループ内の主要な生産拠点を対象とした診断を実施するとともに、お取引先に対して幅広くCSR活動を要請しています。さらに、取引額などから選定したお取引先（取引額全体の9割以上を目標とする）に対しては、3カ年（2009～2011年度）計画で診断を行っていきます。

* 行動規範・自己診断アンケートは、EICC(Electronics Industry Code of Conduct/電子業界行動規範)に準拠しています。

CSR調達の推進ステップ



グループ生産拠点およびお取引先の地域分布



(2010年3月末日現在)

* 所在地が同じでも、製造する製品群が異なる場合は、別の拠点としています。

なお、コニカミノルタの生産拠点およびお取引先は、日本およびアジアが主体となっているため、これらの地域を中心にCSR 調達を展開しています。

サプライチェーンにおけるCSR活動を推進するため、「自己診断アンケート」を用いた診断を開始

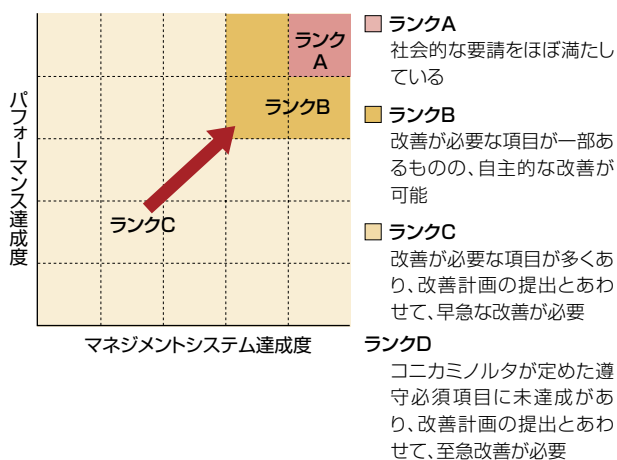
コニカミノルタは、グループ生産拠点やお取引先におけるCSR活動を推進するため、「自己診断アンケート」を用いた診断を2009年度から開始しました。

自己診断アンケートの結果に基づいて課題を明確化

自己診断アンケートを用いて、労働、倫理、安全衛生、環境の4分野の取り組み状況について、それぞれマネジメントシステム(推進の仕組み)とパフォーマンス(推進状況)の両側面から評価します。評価結果をわかりやすくするため、両側面の達成度に応じて、A~Dの4段階にランク分けしています。グループ生産拠点はランクA、お取引先はランクB以上を目標としています。

アンケートに回答いただいたすべてのお取引先には、診断結果を報告します。また、ランクCおよびDの場合には、課題を明確にして、改善計画のご提出と実施を要請していきます。

達成度に応じたランク分け



グループ内の主要な生産拠点から自己診断アンケートを開始

2009年7月からグループ内の主要36拠点に対して、自己診断アンケートによる診断を実施し、2010年4月に完了しました。倫理、安全衛生、環境については全拠点がランクAでしたが、労働についてはランクBの拠点が1カ所ありました。労務方針において、継続的改善に関するコミットメント(宣言)を表明していないことなどに起因しており、目標とするランクAに向けた改善を進めています。

お取引先に対しては、2009年度下期から、CSR活動の要請および自己診断アンケートへの回答要請を行い、回答結果を受けて診断を進めています。

VOICE

お取引先の皆様とともに目標達成に取り組めます。

CSR調達推進委員会に参加することで、行動規範を守ってCSR調達を実施する義務があることを学びました。CSR調達の意義を、従業員やお取引先に理解いただくには、さまざまな苦勞がありました。今ではほぼ理解いただけていると思います。今後は自社のランクAを維持するとともに、お取引先の皆様に対する支援を通じて、目標の達成に取り組んでいきます。



コニカミノルタオプト(大連)社
管理部購買課
課長
金 海濤